

# 人は人を浴びて人に染る

～ふるさと形原を愛する形中生～



## 自主で自由な雰囲気がいっぱい！ SKaT 広場



新学期がスタートして、いいなあと思っていることがあります。それは、昼の放課の SKaT 広場です。

1年から3年まで、誰に指示されるでもなく、自然に SKaT 広場に集まり、我々と思う者が自由に一発芸やギャグを披露しているのです。そしてそれを、周りのみんなが盛り上げ楽しんでます。長い教員生活の中でも見たことがない光景でした。

生徒のみなさんが自主的に作り出した温かい空気、そして本物の縦割りの空間ができています。こんなことができる形中生のすごさに正直驚きました。

これからも是非続けていってほしいです、そして、さらに個人のさまざまな特技を発表できる場所として、進化していってほしいと願っています。「やるじゃん形中生！」

## 転退任式お世話になりました

4月14日(木)、3名の転出された先生をお招きし、転退任式をおこないました。先生方から形中愛を感じる心のこもったメッセージをいただきました。来られなかったドバイのT先生から、手紙が届き、代読していただきました。先生方に形中の良いニュースが届くよう、学校生活を頑張っていきたいと思います。



私は今、ドバイ日本人学校にいます。毎日 40℃近くあります。教室はエアコンがありますが、廊下は野外のような作りなので、いつも日陰を探しています。(中略)新しい環境に身を置くと今まで当たり前だと思っていたことに感謝の気持ちが出てきます。生徒のみなさん、先生方、7年間ありがとうございました。



## 今までと違う 登校風景



赤と水色の中に紺色のジャージ。足元を見ると、白の中に赤や黒、蛍光色の靴や靴下。4月から生活のルールを見直し、今までとは違う登校風景がみられるようになりました。最初は「えっ？ 蛍光の靴」とドキっとしました。しかし、「おはようございます」と元気にあいさつをして、玄関に入っていく姿はこれまでの形中生となんら変わりはありません。今回のルールの見直しは、生徒たちの選択の幅を広げ・考える機会を与えるのが目的ですが、教員や大人の意識改革も大きなテーマであることを実感しています。

## 部活動見学・体験

4月19日(火)より、1年生の部活動見学・体験がはじまりました。どの部活動も先輩たちが、1年生に道具や楽器の扱い方を優しく丁寧に教えていて、うれしく思いました。1年生のみなさんにとって中学に入って最初の大きな選択です。仮入部決定の5月17日(火)まで、短い時間しかありませんが、自分が輝ける部活動をしっかり見極めて、自分の意志で決めてください。それが一番大事です。



4月27日(水)、厄年の伍零酉戌会様より、本校に10万円のご寄付をいただきました。昭和56・57年の酉年・戌年生まれで、本校の50回卒業生であることから、“ござるこけわん”というユニークな厄年会名にされたそうです。

最近、厄年会のメンバーが集まらず苦勞をしているという話を耳にします。伍零酉戌会様は、会員19名と少人数ですが、地域に元気を届けられるように、形原神社の春祭りで手筒花火やエーン曳きを披露されたそうです。

昨年度、本校でも同じ思いで“ちゃらぼこ”の授業を実施しました。これからも形原の伝統文化を絶やさないようにしていきたいですね。

今年になって、地域の方から3度の寄付をいただきました。コロナのため資源回収が例年のように実施出来ない中、ご寄付をいただけることは本当にありがたいです。地域の方の形原中への愛を感じます。伍零酉戌会のみなさん、ありがとうございました。生徒たちのために有効に使わせていただきます。

**感謝** ござる  
**厄年 伍零**  
こけわんかい  
**酉戌会 様**  
**ご寄付10万円**

伍零酉戌会長 様

